

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃

電話 (078) 361-4490

<http://nssk-kobeshoten.org/>

FAX (078) 361-4539

振替口座 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか？」と誘える教会を目指そう。

努力目標

- ◎主日礼拝を大切に守ろう。
- ◎他教会の働きを知ろう。
- ◎教会ホームページの充実と活用。
- ◎地域との交流促進。

聖語 御言葉を宣べ伝えなさい。折りが良くても悪くても励みなさい。(IIテモテ 4:2)

祝クリスマス～暗闇に輝く光～

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった・・・
言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。(ヨハネ 1:1-5)

司祭 ミカエル 小南 晃

ヨハネによる福音書は「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった(1:1)」と始まります。「言(ことば)」はギリシア語のロゴス(理性、論理、万物の根本原理としての理法等の意)という語を訳したものであり、ヨハネ1章1～18節は「ロゴス賛歌」と呼ばれています。格調高い響きがあり、教会でクリスマスに必ずと言ってよい程読まれる箇所です。

それはこの「言」こそが、父なる神の独り子、救い主キリストに外ならず、そして「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた(1:14)」、即ち救い主が世に来られたことを歌っているからです。

「光」であるキリスト

キリストは「言」として語られると同時に「命」、「光」としても表され、そして「光は暗闇の中で輝いている」と語られています。

降臨節に入り、クリスマスに向けて光による演出が色々行われます。ツリーの点灯式やイルミネーション、またキャンドルサービスなど。こうしたクリスマスの季節の光の演出は、「暗闇に輝く

光」としてこの世に来られた神の独り子、救い主キリストを現しているものです。

わたしたちは本能的に暗闇を恐れます。そこに光が灯されると、それだけでほっと安心します。また光は灯台の光や北極星のように進むべき方向を示す道しるべの働きをします。

そして救い主キリストも暗闇に輝く光のように、私たちの心と魂における闇、即ち恐れや敵意などを取り除いて平安を与え、さらにはどのような生き方をすべきか道を示して下さる方だということです。

世界を覆う闇への勝利

しかし「暗闇に輝く光」ということで忘れてはならないのは、光が存在する一方で闇も確かに存在しているということです。救い主の御降誕について、聖書は喜びと祝いのメッセージだけでなく、この世に闇と呼ぶべき悲劇や苦悩があることをはっきりと示しています。救い主の馬小屋での誕生、そこには夜の闇だけでなく貧困や格差、差別、抑圧という闇があり、マタイ福音書はさらに残酷

な幼児虐殺の迫害についても語ります。そしてヨハネ福音書は「暗闇は光を理解しなかった」と、光であるキリスト御自身を拒絶する闇について語ります。

そして今世界を見回す時にもそうした闇が広がっています、パレスチナ、シリア、イラクと世界各地で起きている戦争や内戦、それらに起因するテロによる犠牲者や悲しみと怒り、そして止まることの無い報復の連鎖。こうした世界に恐ろしい闇があること見据えて悲しむと同時に、その闇に勝利する光としての救い主が世に来られたことを信じる時にこそ、クリスマスを本当に喜び祝うことが出来ることになるのです。

「光の子」としての使命

さらに主イエス・キリストご自身が「光の子となるために、光のあるうちに、光を信じなさい(ヨハネ12:36)」と語られます。即ち、私たちに光の子となるようにと招いておられるのです。

クリスマスに光の演出を楽しむのは「光としてのキリスト」の御降誕を喜び祝うと共に、私たちがまた救い主キリストにならって「光の子」、「世の光」となる使命を負っていることを思い起こすためでもあります。

このクリスマスの良き時にあたり、私たちがキリストに与えられた光を輝かせ、人々が神を崇めるための灯火となって参りましょう。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)